

2014 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	新原 道信		
NAME	Michinobu Niihara		

1. 研究課題

(和文) 惑星社会の諸問題に応答する社会運動に関するリフレクシヴな比較調査研究

(英文) Reflective/reflexive research into the social movements responding for/to the

multiple problems in the planetary society

2. 研究期間 1年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word 程度)

本研究は、「3.11」以降の“惑星社会の諸問題を引き受け／応答する”ことを目的として、イタリアの社会学者A.メルッチの社会理論と方法に基づき、イタリアの地域社会と社会運動を、“リフレクシヴな調査研究”によって把握することをめざした。調査研究の主要なフィールドは、日本社会と共通の諸問題を抱えるイタリアの三つの特別自治州における社会運動であり、日本の地域社会との比較調査研究として、以下の調査を実行した:

(1)1980年代以降の日本とイタリアの環境運動、平和運動、人権運動、地域主義運動、牧夫・農民運動等の社会運動に関する資料、とりわけイタリアの社会運動のなかで、理論的・思想的にも主導的な役割を果たしたサッサリの知識人グループであるイニツィアティーヴェ・クルトゥラーリ (Iniziative culturali)、F.バザリア、A.ランゲルに関するドキュメントを収集・整理し、アーカイブ化した。

(2) 1980年代以降の社会運動の当事者(比較的中高年の知識人層)と、「財政危機と3.11以降」に可視化した社会運動の担い手(とりわけ若年層)に聴きとり調査を実施し、「惑星社会の諸問題」への“知覚”と“生存の在り方”の見直し)の側面を抽出し、比較調査研究を行った。

その結果、“リフレクシヴな調査研究”の方法論的錬磨と、「惑星社会の諸問題」への“知覚”と“生存の在り方”の見直し)の側面の抽出により、「生存の場としての地域社会」形成の指針を提示した。

The project is based on the idea : “Reflective/reflexive research into the social movements responding for/to the Multiple Problems in the Planetary Society After 3.11.

Throughout the project, I have sought to clarify the ways in which “dialogue with passion of obscurity and abyss” is lived or embodied in so-called “liminal territories” or “composite corporeality,” in which the varieties of local residents try to coexist while conflicting, merging, and intertwining with one another. In that, the project sets out a preliminary exploration for what might be called “Being there by accident at the nascent moments in which critical events take place.”

4. おもな発表論文等 (予定を含む)

【学術論文】(著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月)

新原道信「A. メルッチの「創造力と驚嘆する力」をめぐって——3. 11以降の惑星社会の諸問題に応答するために(1)」『中央大学社会科学研究所年報』18号, 査読無, 2014年, pp.53-72.
新原道信「『3. 11以降』の惑星社会の諸問題を引き受け/応答する“限界状況の想像/創造力” ——矢澤修次郎、A. メルッチ、J. ガルトウング、古城利明の問題提起に即して」『成城社会イノベーション研究』第10巻第1号, 2015年1月, pp.1-21。

【学会発表】(発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月)

新原道信「生存の場としての地域社会の探究/探求」、地域社会学会、同志社大学、2014年11月29日。

【図 書】(著者名、出版社名、書名、刊行年)

新原道信編、『“境界領域”のフィールドワーク——惑星社会の諸問題に応答するために』中央大学出版部、2014年、はじめに、序章、3章、8章、あとがきを執筆、1章2章を訳出 : i-vii, 1-76, 113-156, 335-436, 455-456 を執筆、79-112 を訳出。

【その他】(知的財産権、ニュースリリース等)